

ドライブレコーダーを搭載したごみ収集車の前で、事故や犯罪の防止を誓う稲村和美市長（右から二人目）と市内3警察署の署長＝尼崎市役所で



ひったくりなどの犯罪の容疑者特定や交通事故の捜査に役立てるため、尼崎市は2日、尼崎南・尼崎東・尼崎北の市内3警察署に市内のごみ収集車30台に搭載しているドライブレコーダーの情報を提供する協定を結んだ。

尼崎市では2013年度に「ひったくり撲滅宣言」を行い、防犯カメラ設置や啓発活動などに取り組んできた。その結果、ひったくり認知件数はピーク時の8

ごみ収集車ドラレコ情報提供

尼崎市内3署と協定

85件(03年)から減少し、昨年初めて100件を下回った。

ごみ収集車は、決まった時間帯に同じ道を走行していることから、事件・事故捜査への協力が期待でき、収集車の走る経路一帯の犯罪抑止効果も狙う。

協定式のあった尼崎市役所で、稲村和美市長は「治安改善のため、できることは全てやる気持ちで取り組みたい」とあいさつした。

【伊藤絵理子】

9/3 M

ゴミ収集車 事件 画像提供

尼崎市と3署が協定

ドライブレコーダー活用



尼崎市と市内3署が、市が運用するごみ収集車のドライブレコーダーの画像提供に関する協定を結んだ。犯人の早期発見や犯罪抑止につながることを狙い。

協定では、事件や事故の発生時、3署などから要請を受けた市は、一般家庭ごみ収集車(30台)のドライブレコーダーの録画情報を提供。市が事件などを認知した際には、即座に通報することなどを定めている。

2日に締結式があり、稲村和美市長が「街中を走るカメラを活用し、市民の安全安心につながれば」と期

待。服部玉記・尼崎南署長は「ゴミを収集する朝の時間帯は手薄になりがちなので、ありがたい」と話した。その後、関係者はドライブレコーダーを搭載した収集車を見学した。写真。

9/4 Y

ごみ収集車映像 犯罪対策に

ひったくりなどの路上犯罪対策として、尼崎市はごみ収集車のドライブレコーダー(DR)の映像を県警に提供する。2日、市内3署と協定を結んだ。



協定を結んだ稲村和美・尼崎市長と市内3警察署長＝尼崎市役所

尼崎市・3署協定 ひったくり多発 撲滅狙い

市生活安全課によると、山手幹線と国道2号に挟まれた市の約3分の1の地域で、市が毎日走らせる30台の収集車が対象。ひったくりや交通事故の捜査で県警から要請があれば提供する。

市は、ひったくり多発地帯。2011年から4年連続で、県内最悪の認知件数(年間150〜258件)を記録した。市は14年、市営バスのDR映像を県警に提供する協定を結ぶなど、撲滅作戦を展開。その結果、15年に71件まで減って神戸市を下回り、久々に県内ワーストの汚名を返上した。駅前など、バスが集中する場所でのひったくりが大きく減ったという。

市営バスの映像提供は、今年3月のバス事業民営化後、阪神バスに受け継がれている。市生活安全課は「実際に提供したケースはまだないが、協定の存在自体が抑止効果を生み出している。ごみ収集車に対象を広げ、さらに被害を減らしたい」としている。

(宮武努)